



長年にわたるBlackboardのデータを掘り出して、教育機関のパフォーマンスを可視化する



UNIVERSITY
of DERBY

ダービー大学

ダービー大学は現代的で革新的な教育機関であり、2001年以降、柔軟な学習の選択肢を必要とする学生のためにオンライン遠隔学習を提供してきました。遠隔学習コースの成功例が増えて要望が高まったことを受けて開始したのが、ダービー大学オンライン学習 (UDOL) です。UDOLを利用している学生の平均年齢は35 - 45歳。その大半がキャリアの向上や転職を目指している社会人です。

概要

- 学生数34,000名 (うち3,300名がオンライン)
- 職員数3,000名超
- 卒業生の96.9%が学士号取得後に就職するか、6か月間研究に従事していません (HESA 2015)
- 教育の質でトップテンにランク入り (The Sunday TimesとThe Times Good University Guide 2016)

Blackboardのソリューション

- Blackboard Learn™
- Blackboard Analytics for Learn™
- Blackboard Collaborate™
- Blackboard Mobile Learn™

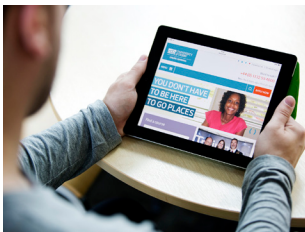
課題: 分析範囲を改善して、高い利用者数目標をサポートする

オンラインを利用する学生の数は2015年の時点でおおよそ3,000人でした。ダービー大学はオンラインビジネスの成功を受け、この人数を2020年までに10,000人まで増やすことに目標を上げました。この目標を掲げたことにより、ビジネスの進捗を可視化して、オンラインビジネス用に分析範囲を改善する必要性が生じています。

ダービー大学では過去に、学内のデータをさまざまな用途で利用していました。UDOLでは、このようなデータをオンラインビジネスの管理に活用していました。ダービー大学ビジネスシステムマネージャのSandra Stevenson-Revill氏は次のように述べています。「UDOLの学生はみな、遠隔地のオンライン上で学習していません。また、彼らに対応する職員の多くも遠隔で仕事をしています。このデータを使えば、UDOLは学生の進捗状況や職員の使用状況を確認することができます。また、大学の他の機関も、たとえば人が多く集まるモジュール、よく利用されるツール、あまり利用されていない箇所など、オンライン学習プラットフォームの利用状況を確認することができます。ITという観点から考えると、頻繁に利用されているツールがあればその機能を拡張し、学生にとって最適な性能を提供したいと考えています。」

Blackboardのサービスには、事前に作成されたレポートとオプションが数多くあります。また、私たちにとって重要なキューブとウェアハウスがすでに構築され、まとまっています。このことは私たちにとって大きな力添えとなり、必要な初期段階のレポートでビジネスを円滑に進めることができます。」

Sandra Stevenson-Revill
ダービー大学ビジネスシステムマネージャ



これまで長い間、ダービー大学はCognosという外部のレポート作成ツールを使用し、一般的なバーチャル学習環境 (VLE) の利用状況、重要業績評価指数 (KPI)、およびビジネスインテリジェンスに関する最低限のレポートを行ってきました。このような情報を、ビジネスサービスサポートチームを経由して中央に集め、ITサービスのサポートを受けていたのです。このアプローチでは、VLEの利用状況や効果を詳しく測定することができないといった制約がありました。本当に必要とされるレポートを提供するためには、技術的資源が必要でした。UDOLのオペレーションIT実装マネージャRuth Grindey氏は、次のように述べています。「私たちの運営上の問題点の一つに、詳細なデータの確認を、必ずしも私たち自身でできるわけではない、ということがあります。データの照会を行ったり、傾向や相関関係の調査を行ったりすることが、思うほど簡単ではないのです。」その結果、情報のリクエストが増え続け、ビジネスの需要を満たす十分なリソースを得ることができなくなりました。システムやモジュールの使用状況、コースの利用状況、学生のパフォーマンスなど、分析が必要なものは数多くあるというのに、基本的な分析レポート機能しか使えなかったのです。

解決策 :Blackboardによる分析

改革とともない、ダービー大学はBlackboard Analytics for Learnの利用など、分析を実用化するための戦略計画を正式に決めました。UDOLの関心が特に寄せられたのは、オンラインで教育と学習を提供するという運用面での分析でした。これにより、学生のパフォーマンスの可視性が高まります。また、優れた教育、学習、評価を提供するために大学職員をどのようにサポートし、卓越した顧客サービスの提供をどのように実現すればよいかを判断できるようになります。

Sandra氏は次のように説明しています。「Blackboardのサービスには、事前に作成されたレポートとオプションが豊富にあります。また、私たちにとって重要なキューブとウェアハウスがすでに構築され、まとまっています。このことが大きな力添えとなり、私たちは必要な初期段階のレポートでビジネスを円滑に進めることができます。長期的にはこのウェアハウスを本学のウェアハウスに統合し、レポート機能の大幅な向上を実現できます。」

アジャイルの導入

2014年4月より、ダービー大学はBlackboard Consultingと緊密に連携して技術を取り入れてきました。この共同アプローチは、ダービー大学にとって大変役立つものでした。分析自体は大学にとって新しい試みではありませんでしたが、「Blackboardの分析方法と使用しているソフトウェアは、私たちにとって斬新なものでした」とSandra氏は述べています。「コンサルタントと共同作業することで、速やかに取り組むことができました。短いリードタイムで、この種のソフトウェアを導入することができました。」また、ダービー大学のアジャイル導入は、学内のITサービス部門と学習強化チームのサポートを受けて行われ、大学全体への導入が促進されました。導入から一年が経ち、長年のデータを見ることができるようになりました。Sandra氏は次のように述べています。「レポートを見ると、導入以降使用されていないツールがあることがわかります。これらは段階的に使用されなくなっています。一方で、頻繁に使用されているツールがあることもわかります。」

直接的な影響

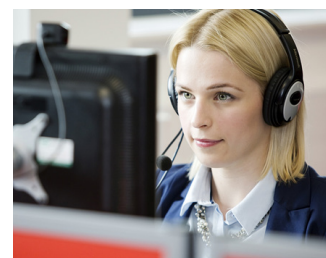
ダービー大学にとって大きなメリットの一つは、過去6-7年分のデータを使用できるようになったことです。これらのデータがすでに学内のシステムに存在し、Blackboard Analyticsで利用できる状態になっています。Sandra氏は次のようにも述べています。「私たちはクリーンなデータを利用して、高水準で質の高い、優れたレポートを手に入れています。これは、このようなデータを分析して利用するのにふさわしいツールを、私たちが辛抱強く待っていたからにほかなりません。過去を何年も遡ってみると、使用するツールや教育スタイル、内容の変更などの要素が、学生の成績向上とどのように関係しているのかがわかります。過去を振り返りそれを生かすというプロセスを行うことで、力強く前進するでしょう。私たちは今すぐに、このプロセスを開始できるのです。」

Blackboard Analytics for Learnを使用することで、大学側は、サービスレベルアグリーメントへの違反があるかどうかを確認し、経時的な傾向を把握することができます。オンライン学習チームにとって大きな課題となるのは、遠隔地の職員と遠隔地の学生の動向を追跡し、彼らのベストプラクティスや成功例を特定することです。Ruth氏は次のように述べています。「これからは、どの学生集団のパフォーマンスが悪くて、どの学生集団が良くないのかが、分析によって細かいところまでわかるようになります。学習と教育をうまくサポートするために何をすればよいか分かり、学生に優れた顧客サービスを提供するための知識を得ることができるのです。また、学生の動向やパフォーマンスに関する見解を得ることもできます。」

ダービー大学のオンライン学習には、キャリアの向上を目指す経験豊かな社会人がたくさん在籍しています。高校を卒業してそのまま大学に入学した一般の学生とは特徴が大きく異なります。オンライン学習に取り組んでいる社会人にふさわしい顧客サービスを提供するには、通常とは異なるアプローチが必要であり、Blackboardのツールがその実現に役立ちます。Ruth氏は次のように述べています。「分析をすることで、自分たちの仕事の手順をより効果的に監視し、それを周知させて適応させるために必要なデータや情報がわかるようになります。これは将来的に、私たちにとって新しい働き方になるでしょう。」

分析をすることで、自分たちの仕事の手順をより効果的に監視し、それを周知させて適応させるために必要なデータや情報がわかるようになります。これは将来的に、私たちにとって新しい働き方になるでしょう。」

Ruth Grindey
オペレーションIT実装マネージャ
ダービー大学オンライン学習



詳細については、askus@blackboard.comまでEメールでお問い合わせいただくか、blackboard.comをご覧ください。

